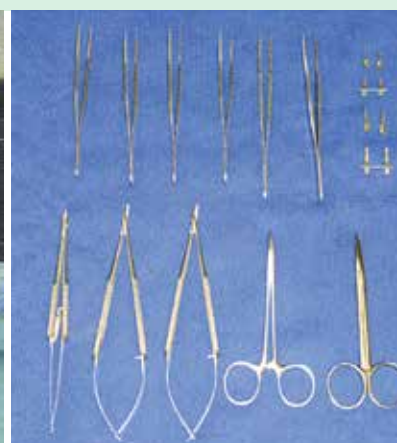


感覚・皮膚・運動部門

形成外科



形成外科を充実させていきます！

平成25年7月1日より福井大学医学部附属病院に形成外科の診療科を開設し、形成外科の診療を充実させています。

形成外科を福井県に根付かせる！

福井県の形成外科の現状は、県内の基幹病院では福井県立病院と福井赤十字病院にしか常勤の医師が在籍しない状況でした。県内では対応できなくて石川県や関西の方まで通院する方もいたということをお聞きしております。今後は、**大学病院だけでなく福井県に形成外科が根付くようにしていきたい**と考えています。これから形成外科を立ち上げていくこと、そして形成外科の診療を通じて福井県に貢献できることを楽しみにしています。

体の表面を治療する。

「形成外科で何を治療するのかよく分からない？」

と質問を受けることがあります。他の診療科と比べまして一言で言いにくいのですが、**形成外科では体の表面に生じる様々な変形・欠損・異常を治療します**。扱う疾患は、きずや皮膚のできもの、生まれつきの変形や異常、けがやがんにより生じた大きな欠損や変形に対する移植術や再建術など広い範囲で対応しております。外見上の問題を改善させることを目的としています。

なおるきずをきれいになおす。 なおらないきずをなおるようにする。

けがやできものの治療は、外科系の手術を行う診療科であれば扱うことは可能です。ただ外表を取り扱う以上、機能面だけでなく形態面での改善が必要です。特に顔面は他人から見られる部分になりますので形態面が重要になります。形成外科ではきめ細かくよりきれいになおすことにこだわりを持って治療していくので、結果に大きな違いが生まれてきます。

また、大きな欠損、例えば悪性腫瘍切除や外傷に伴う広範囲欠損は、通常の方法では治療が不可能でした。形成外科では顕微鏡を用いた微小血管(口径1mm程度)の吻合も専門にしています。この非常に繊細な技術を用いることで広範な欠損に対しても十分な大きさの皮膚移植を行うことができ治療が可能になりました。

形成外科では様々な知識と技術を駆使して治療を進めています。少しでも興味を持つようでしたら遠慮なく相談に来てください。

14 形成外科

科 長
(准教授)
(研修統括者)

中井 國博（なかい くにひろ）
出身大学 大阪大学卒業（平成7年）
専門分野 日本形成外科学会専門医

診療内容

福井大学医学部附属病院形成外科で取り扱う疾患は小さな切創や皮膚腫瘍から、先天性の体表異常や変形、外傷やがん切除により生じた大きな欠損や変形に対する移植術や再建術まで多岐にわたり、幅広く多くの症例に対応しています。機能面だけでなく**整容面の重要性を認識して診療を進める**ように心がけています。

形成外科で扱う疾患を別にあげました。参考にしてください。

形成外科で扱う疾患

- 〈外傷〉熱傷、切創、擦過傷、挫滅創、皮膚欠損創、顔面外傷、四肢外傷、顔面骨骨折、傷跡、ケロイド
- 〈皮膚腫瘍〉皮膚良性腫瘍、母斑、血管腫、軟部腫瘍、皮膚悪性腫瘍
- 〈先天奇形〉多指症、合指症、臍突出、口唇裂、口蓋裂、副耳、耳瘻管、耳変形
- 〈その他〉乳がん術後変形、陥没乳頭、外表変形欠損、眼瞼下垂、睫毛内反、顔面神経麻痺、腋臭症、リンパ浮腫、静脈瘤、陥入爪、難治性皮膚潰瘍、糖尿病性壊疽、褥瘡

研究内容

再建手術を中心とした形態学的検討
皮膚の構造と機能および創傷治癒に関連する病態の解析
神経障害に伴う知覚異常、疼痛に関与するメカニズムの解明

研修内容

- 1) 研修プログラムは日本形成外科学会専門医資格取得の為の研修期間に対応した内容です。
- 2) 指導医の指導の下で形成外科診療に必要とされる知識、技術、診療態度を修得する事を目標にしています。
- 3) 1年目は、形成外科診療に関する基本的な創管理、形成外科的縫合法、植皮術、皮弁作成などについて研修してもらいます。
- 4) 2年目以降は、より高度な形成外科手術に携わってもらいます。顔面や手の手術、筋皮弁を含めた皮弁手術、遊離複合組織移植手術等になります。
- 5) 学会発表や研究論文投稿ができるように指導を行います。

研修 プログラム

研修4年間は主として病棟医として、専門医である科長の下で下記の修練を行う。

初期臨床研修終了後

1年目～

- 1) 形成外科的診療法・記載法
- 2) 手術前・後の管理
- 3) 創処理
- 4) 簡単なスプリント及びギプス固定法
- 5) 形成外科的外傷の救急処置
- 6) 形成外科手術の助手
- 7) 形成外科的縫合法（全層植皮の恵皮部等）
- 8) 小範囲の分層植皮の採取法

を修練する。

- 1) 顔面以外の部位の植皮術
- 2) 小範囲の瘢痕拘縮形成術
- 3) 簡単な皮弁作成
- 4) 簡単な顔面の手術あるいは手の外科手術

などの手術において部分的な執刀者となる。

2年目～4年目

- 1) 上記修練を引き続き続ける。
- 2) マイクロサージャリーの手術手技の修練。（練習用チューブ、動物の血管等）
- 3) 週2回程度外来において指導医の指導下で外来新患患者の診療を修練。
- 4) 顔面や手の機能再建手術、各種皮弁（筋皮弁を含む）手術の部分的な執刀者になる。
- 5) 切断指再接着や遊離複合組織移植手術の部分的な執刀者になる。
- 6) 指導医の指導の下で形成外科の手術の執刀者になる。

この時期後半には日本形成外科学会各支部地方会に演者として演題を発表する。
日本形成外科学会専門医資格取得のための期間を修了する。

教職員の 募集について

定 員：若干名

選考方法：面接で行います。

説 明 会：希望に応じて設定します。

連 絡 先：中井國博（科長）まで問い合わせて下さい。

knakai@u-fukui.ac.jp

0776-61-8861（形成外科医局）